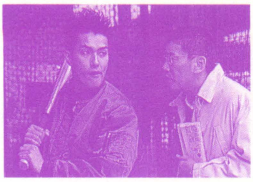
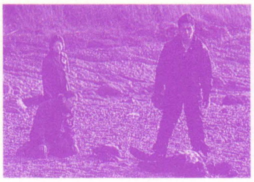
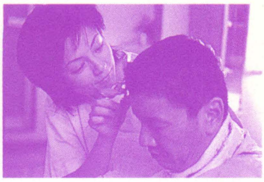
皆月
奥田瑛二
北村一輝
吉本多香美
荻野目慶子
原作＝花村萬月
（吉川英治文学新人賞「皆月」講談社・刊）
脚本＝荒井晴彦
望月六郎監督作品
「……私も、あなたも、アキラも、みんなお月様だって思った。自分では光る事ができなくて、他人の光を反射するのがやっと……」
「どこに惚れたんだ?」
「決まってるじゃない、セックスよ」
「そんなにいいのか?」
「うん」
「それでも、捜しに行く?」
「行きます。納得したいんです。できうることなら、心の底からわきらめたい」
「ごめんね……オッサン」
「そんなモテるなんて思ってないよ。女房にも逃げられたオッサンだよ。」
「刺青なんていつしたの?」
「結婚式の日」
「バカ」
みんな月でした……
minazuki
製作総指揮……中村雅哉
企画……吉田達
プロデューサー……角田豊
半沢浩
ラインプロデューサー……新津岳人
企画協力……植木実
撮影……石井浩一
照明……櫻井雅章
録音……西岡正巳
美術……山﨑輝
編集……島村泰司
音楽……遠藤浩二
スクリプター……長坂由起子
助監督……中村和彦
製作担当……黛威久
キャスティング……窪田昭子
テーマ曲「早く抱いて」……山崎ハコ
製作協力……(株)フィルム・シティ
製作・配給……日活株式会社
一九九九年／ビスタサイズ／カラー／一一四分
©一九九九 日活株式会社

皆月

自分では輝くことの出来ない〝月〟たち……







この作品の登場人物は、みな「弱い人間」だ。中年にさしかかった自分の鬱屈した思いを
この小説には描いたし、そんな自分にエールを贈りたいと思い、書いた小説だった。
涙こそこらえたが、この映画に没入してしまい、胸に迫ってくるものがあった。
望月監督は『皆月』を優しい作品に仕上げてくれた。

——【原作】**花村萬月**

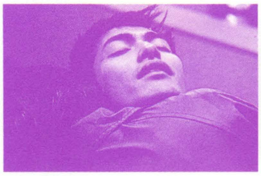
〝暴力〟から〝愛〟へ
人の心の軋みと癒しがたい傷から再生を描き出す
花村萬月作品、待望の映画化！

「みんな月でした。がまんの限界です。さようなら」
ある日、そんな謎だらけの手紙を残して妻が失踪した。橋梁設計士の諏訪は、冴えない四十男。すべてを失った諏訪は、チンピラの義弟、彼を愛するソープ嬢と共に妻を捜す旅に出る…。愚劣で惨めな現実。本気で人間と関わることのできなかった自分。三人は旅の終わりに、それぞれ自分にとっての「愛」と「再生」を汚辱の中から見つけ出すのだ。人の「心の軋み」と「癒しがたい傷から再生」する姿を描き出す傑作が誕生した。原作は「ゲルマニウムの夜」で第一一九回芥川賞を受賞した花村萬月の同名小説。第十九回吉川英治文学新人賞を受賞した本作は、花村氏が「暴力」から「愛」を描くようになる記念碑的な作品なのである。

汚辱の中に身を置きながらも、生きようとする類稀なパワーで
人を引きつける〝中年男〟達と初々しい才能との出会い。
純愛と新たな出発を描く大人のためのファンタジー、誕生。

純愛と新たな出発を描き、大人のためのファンタジーともいえるこの作品を監督するのは、『鬼火』で九七年度キネマ旬報監督賞を受賞し、国内だけでなく海外の国際映画祭でも注目を集める望月六郎。原作の花村氏は、最も好きな映画の一本に望月氏の『鬼火』を選ぶなど、理想的な組み合わせが実現したのだ！脚本は、九七年『身も心も』で自らも監督デビューを果たし、人間の繊細な感情をすくい上げる名手、荒井晴彦。主演は、望月作品では常連の奥田瑛二に加え、どこの組にも属さないアウトローのヤクザ者、義弟アキラに『CLOSING TIME』『日本黒社会』で脚光を浴びる新鋭・北村一輝、自分では輝くことのできない「月」の人々の中で、一人だけ自らが光を発する「太陽」由美役に、JR東海「クリスマスエキスプレス」の五代目ヒロインとしてデビューし、「リップスティック」「らせん」などテレビドラマ等で活躍する吉本多香美。失踪する妻、沙夜子に『いつかギラギラする日』『忠臣蔵外伝 四谷怪談』の演技派、荻野目慶子が出演。厚みと新鮮味を合わせ持ったキャスティングとなった。

……旅の終わりに彼らは、何を見つけだすのだろう？



minazuki

ロッテルダム国際映画祭・ペサロ映画祭正式出品作品
1999年／日本／ビスタサイズ／カラー／モノラル／114分
製作協力：(株)フィルム・シティ　製作・配給：日活株式会社
©1999 日活株式会社　http://www.nikkatsu.com　R-15

第19回吉川英治文学新人賞受賞作 **花村萬月「皆月」**
絶賛発売中！——【講談社刊】

晩秋,待望のロードショー!!

11/20(土)〜12/3(金)

- ○ 特別鑑賞券1,500円絶賛発売中！（当日一般1,800円の処）
- ◑ 劇場窓口、阪急、阪神、東映、エスト1PG、チケットセゾン、チケットぴあにてお求め下さい。
- ● 劇場窓口にてお買い求めの方に特製ポストカード（限定）プレゼント！

梅田ロフトB1　06(6359)1080
テアトル梅田
http://www.cinemabox.com/